

東京高専 第13回参与会を開催

東京高専（古屋一仁校長）では、同校の自己点検・評価を検証することにより、自らの改革・改善につなげることを目的とした、外部の有識者で構成する参与会を平成27年3月24日（火）開催した。

この参与会は、教育研究活動、学校全体の活動状況、及び課題並びに将来展望等について、助言や提言をいただくことを主な目的として、今回で第13回目となるものである。

古屋校長及び参与会会長の東京工業大学大学理事・副学長の丸山俊夫参与の挨拶に続いて、カリキュラム改訂の取組状況や高専の動向等について説明が行われた。

同校の活動、取組等に対して、各参与から質問、意見、指摘があり、活発な意見交換が行われ、自己点検・評価書及び東京高専全体の現状と課題等について、各参与から助言・提案が寄せられた。

参与からの助言及び提言を踏まえて、改善に向けての方策を検討し、今後の学校運営に生かしたいとしている。



挨拶する古屋校長